

学校だより

R5.3.16 発行

清水小学校

# しみず 3月

家庭数

## 一年間お世話になりました

校長

2月21日（火）の朝会で、子どもたちに、このような話をしました。

昔、アメリカのあるグループの人たちが、「どうすればお金持ちになれるか。どうすればお金持ちでいられ続けることができるか」という課題について、10年間かけて研究したことがあるそうです。その結果、ある一つの共通する答えが見つかりました。なんとだと思いますか。それは、「大人になって豊かに暮らしている人には、トイレをいつも掃除し清潔にしている人が多い」ということだったそうです。

みなさんも、トイレだけでなく、毎日、掃除をしていますね。学校だけでなく、家でもしていると思います。「掃除」について、仏教の教えでは、毎日、自分の身の回りをきれいにすることは、自分の心をきれいにすることにつながると考えているのだそうです。掃除は、日常生活の中の当たり前の行為です。自分が使う場所をきれいにする。でも、この当たり前のことがなかなかできません。「面倒くさい。」、「汚い。」、「忙しい。」、「今日ぐらいしなくていいだろう。」、「自分一人ぐらいさぼっても分からない。」……。なにか言い訳をしては、なまけようとする気持ちが起ってきます。しかし、そういうなまけ心を越えて、毎日、身の回りの掃除をすることは、実は、何より自分自身の日々の暮らしを裏表のない清らかな暮らしにし、その結果、心と体のバランスが良くなり、正しく豊かな行動ができる人、信頼される人に育っていくことにつながっている、ということかもしれません。

そういえば、投手と打者の二刀流で、世界でトップクラスの野球選手になったロサンゼルス・エンゼルスの大谷翔平選手の、グラウンドに落ちているごみを進んで拾う姿が、世界中で話題になったことがありましたね。大谷選手と同じ高校の先輩だった、シアトル・マリナーズの菊池雄星選手も、高校時代、毎日進んでトイレの掃除をしていたそうです。

みなさんの回りにいる、「掃除」を一生けんめいしている人を探してみましょう。その人は、ひょっとしたら、未来のスーパースターかもしれませんよ。

今年度当初、PTAだより第234号で、清水の子どもたちを育てていく上で「**凡事徹底**（当たり前のことを、人が真似できないほど一生懸命する）」を大切に考えていること。特に一生懸命取り組む「**凡事**」として「**時を守り、場を清め、礼を正す**」を掲げていること。そして、これらは、**基本的な生活習慣や学習習慣の確立、進んで挨拶や掃除をする愛校活動の励行、地域の方との交流活動の充実**など、これまで**学校と家庭と地域とが力を合わせて築いてきた「清水教育の基盤」**であることについて述べさせていただきました。

2月24日（金）、子どもたちが主体となって、**愛校活動（清掃活動や挨拶運動等）の引継ぎ式**を行いました。清水小学校でずっと大事にしてきた「**進んで人の心も自分の心もきれいにする取組**」が日常の「**凡事**」として引き継がれていく姿に心を打たれました。こうした**心の教育**を、家庭や地域の皆様と力を合わせて、これからも大切に続け、もっともっと広げたいなと思いました。

保護者の皆様、地域の皆様、一年間お世話になりました。今後とも、よろしくお願いいたします。



## 旅立ちの今 思うこと

### 別れはつらい

6年 男子

僕が卒業について思っていることは、悲しいということです。6年間一緒に過ごしてきた友達とお別れをしないとイケないからです。こんな僕でも仲良くしてくれた友達がたくさんいます。そんな友達とも別れを告げなければいけないと思うととても悲しいです。でも卒業まで数日あるのでその時間を大切に卒業に向けてできることを精一杯頑張っていきたいです。

### 卒業にあたり

6年 女子

卒業にあたり、私は、卒業までたった数日しかないことを、少し寂しく、そして、少しうれしく思っています。6年間過ごしてきたこの校舎や友達、先生などの環境が、中学校へ行くと変わってしまい、不安な部分もあります。けれど、中学校での新しい出会いや、環境がどのような感じなのか期待している部分もあります。中学校へ行っても、今までと違う環境に少しずつ慣れながら、勉強と部活動の両立に励みたいです。

### 卒業にあたって思うこと

6年 女子

私が今一番感じている、心配していることは、清水小学校から卒業したくない、という思いがあることです。同級生のみなどと会話がうまくできなかった、学校にあまり行きたくなかった1年生から、こんなにも学校を楽しみ感じられる6年生になりました。そこには、友達と協力して、いろいろなことを学んできたから、清水小学校にたくさんの思い出がつまっているからだと思います。

ですが、6年生を送る会で、1～5年生や先生方に背中を押してもらった気がしました。小学校生活で学んだことを生かして、またこの気持ちになれるような中学生になりたいです。

### 旅立ちの今、思うこと

6年 男子

清水小学校には6年間お世話になりました。ちがう中学校に行く人もいるので、中学校で会えなくなると悲しいです。清水小に入学したころは不安もあったけれど、今考えてみれば、遠足や修学旅行もあり、楽しい小学校生活だったなと思います。あと、家族にも感謝しています。かけがえのない存在なんだと思いました。この6年間は家族の支えがあってこそ、楽しく明るく生活できたんだと改めて思いました。

### 感謝の気持ちを胸に

6年 女子

今までたくさんの方々にお世話になってきました。家族、先生方、友達、地域の方々、いきがい交流センターの方々、たくさんの方がいます。この6年間、とても楽しく過ごすことができました。なので、しっかり感謝を伝えて、前に進んでいきたいです。中学校では人数も増え、人と関わる機会も増えますが、楽しいこともたくさんあります。心配なこともあります。しっかりと前を向き、進んでいきたいです。

### 卒業式に向けて

6年 女子

中学生になるのは、不安なこともたくさんあるけれど、まずは卒業式でちゃんと成長した姿を見せたいと思いました。今までは、成長を見せることができる機会が参観日以外ほとんどなかったけれど、最後の成長を見せることができる卒業式という場で、よい姿を見せることができたらいいいと思いました。中学校でも成長して帰りたいと思いました。

# 6年生を送る会 ～6年生のみなさん おかとうございました～

## 1年 男子

1年生はみんなでポンポンを合わせて「♡ガンバレ♡」の文字やかたちをつくりました。「バ」はななめにするのがむずかしくて、なんどもれんしゅうしました。6年生が「おー！」といっはく手をしてくれたのが、とってもうれしかったです。いままでやさしくしてくれた6年生にありがとうといいたいです。

## 2年 女子

6年生をおくる会で心にのこったことは、2年生の文字当てクイズです。どうしてかという、ずっとダンスのれんしゅうをがんばってきたし、さいしょは少しむずかしかったからです。本番は、ちゃんとできるかどきどきしていました。6年生は文字を当てることができたのですごいなと思いました。はっぴょうがおわった後、6年生が大きいはく手をしてくれたので、うれしかったです。

## 3年 男子

送る会のステージに立つとき、緊張しました。練習の時、問題を忘れることがあったからです。休み時間に練習をして、本番。せりふを言う時になると、緊張がなくなっていました。周りがざわざわしてきたので、ゆっくりと大きな声で言いました。うまくできてほっとしました。いつもお世話になっている6年生に感謝の気持ちが伝わるようにがんばりました。ぼくは、6年生みたいに、みんなを幸せにしていきたいです。6年生のみなさん、ありがとう!!



## 5年 男子

ぼくは、始めの言葉の「ここ」の役をしました。「6年生に楽しんでほしいな。」と思って、練習してきました。本番は、大きい声を出して全校を盛り上げることができてよかったです。出し物では、最後に6年生と一緒にソーラン節をおどって、全力で楽しくできました。運動会の練習で、6年生が優しく熱心に教えてくれたのを思い出しました。6年生が楽しんでくれて、送る会の準備や練習をがんばってよかったと思いました。

6年生は、一緒に遊んでくれたり、そうじをがんばったりしてくれました。ぼくも今のようすてきな6年生になりたいです。



## 4年 女子

今年も、6年生を送る会がやってきました。練習のときは、タイムは7分を切らなければいけないのに約10分もありました。私は少しでもタイムを縮めるために、玉入れの片付けを頑張りました。練習しているうちに、どんどんタイムが縮まって約8分になりました。本番に向けてどんどん良くなってうれしかったです。本番はとても緊張しましたが、6年生が喜んでくれたので良かったです。来年は高学年として、6年生を送る会で、6年生といい思い出を作りたいなと思います。



# 1年間の思い出

## 1年かんの思い出

1年 女子

1年かんの一ばんの思い出はどうごうえんへのえん足です。ともだちと大きいすべりだいをなんかいもすべりました。たかいところからおちているような気持ちになりました。そのあと、てんぼうだいにのぼりました。じんじややまつ山じょうが見えて、こんどそこにかぞくといってみたいとおもいました。おべんとうはたべるのがもったいないくらい、おかあさんがきれいにつくってくれました。とてもおいしかったです。また、みんなとえん足に行くのがたのしみです。

## がんばったかけ足とび

2年 男子

ぼくは、冬休みにお母さんといっしょに、れんしゅうしてかけ足とびがとべるようになりました。1年生の時から使っていたなわとびが短くなったので、新しいなわとびに買いかえました。そのなわとびのとくちようは、青くて自由に長さをちょうせつできることです。お母さんに「もっとはやくうでを回して、足がなわを回すスピードのリズムについていけるといいよ。」とアドバイスをもらいました。何回か、れんしゅうして、4回目でやっとなべました。とべた時はうれしかったです。つぎは、後ろかけ足とびがとべるようになりたいです。

## 3年生の思い出

3年 女子

私は、3年2組でたくさんの思い出ができました。中でも、クラスの友達が2月に転校したことがとても心に残っています。とても明るい子で、いつもクラスを元気にしてくれていました。転校する少し前に、みんなでお別れ会をしました。その子もまわりの子もみんなとても楽しそうでした。最後に一緒に思い出が作れて本当によかったです。お別れするのはさみしいけれど、その子が「来年になったら帰ってくるからね!」と言ってくれた時は、ほっとしました。

来年は離れなければならないけれど、お互いに元気で過ごしてまた再会したいと思います。私も、勉強や行事をがんばってすてきな4年生になりたいです。

## 1年間を振り返って

4年 女子

わたしは、この1年間でたくさんのことができるようになりました。一つ目は、1学期にあったプール学習です。わたしは、プール学習で目当てを立てました。それは、「一生けん命あきらめずに、最後まで泳ぐこと」です。タイム測定の時に、最後まで足を動かし、泳ぎ切ることができました。二つ目は、運動会です。わたしは、2年ぶりに全校リレーに選ばれました。去年はなれなかったので、たくさん練習をしました。本番では、次の人へ確実にバトンを渡せるように「はい」と声を上げて、練習をした通りに渡すことができました。また、わたしのチームは1位だったのでとてもうれしかったです。三つ目は、3学期にあったクラブ活動です。わたしは、初めてトーンチャイムをしました。最後の日には、えんそうするときに聞いてくれる人も楽しくなるように心をこめてえんそうしました。

この1年間で多くのことを学ぶことができました。清水小学校の運動会スローガンでもあった、「心をひとつにつきすもう!」をずっと目標にして、友達とも協力をすることができました。来年は高学年として、下学年のお手本になれる行動ができるようがんばりたいです。

## 1年間を振り返って

5年 女子

私が1年を通して頑張ったことは二つあります。

一つ目は、運動会の「ソーラン節」です。初めて踊った時はとても疲れたけど、どんどん練習していくうちに、楽しくなってきました。本番では、堂々と踊ることができました。

二つ目は、給食委員会での給食感謝集会のビデオ撮影です。給食委員会の全員で協力して、清水っ子みんなの残食を減らしたいという思いを、大きな声で分かりやすく伝えることができたと思います。

6年生になったら、運動会も委員会も最後の活動になります。今よりも、もっと頑張って、高学年として学校を引っ張っていけるようにしたいです。